

次期一般廃棄物最終処分場について 市民説明会 質疑応答内容

日 時：令和4年8月24日（水） 午後7時00分から午後8時50分まで

場 所：串川地域センター 1階多目的ホール

【説明内容】

- (1) 一般廃棄物最終処分場の現状について
- (2) 次期一般廃棄物最終処分場の候補地選定について

【質疑応答】

◎市民 ●清掃施設課

- ◎ 候補地No.5、6の間に示しているのは、リニア中央新幹線の計画線と説明があったが、送電線ではないか。また、尻久保川付近については、過去の大雨や台風時に水害が発生したが、防災観点の対策についてはどのように検討されているのか。
- No.5、6の間については、リニア中央新幹線の計画線と送電線があるため、どちらについても配慮や対応を検討する必要がある。
また、No.5、6に整備した場合の排水について、安全上の支障がないように法令基準以下に処理した水を尻久保川に放流することも想定されるため、安全対策も含め検討していきたいと考えている。
- ◎ 最終候補地の選定については、住民参加型の選定方式にし、地元の同意が無ければ候補地にしないという形にできないか。
- 何をもって地域の同意かという判断は難しいが、地域の方々の理解が無い中で、行政だけで決定すべきでないと考えている。今日のような地域の皆様との対話は重要であるため、今後も対話をお願いしたい。
- ◎ 審議会の委員は5名とのことだが、誰が選考したのか。
また、委員全員が現地を確認しているのか。
- 審議会の委員については、市が廃棄物施設を整備する際に参考となる文献等を基に検討し、選定した。
また、現地確認については、委員全員が一次候補地の9箇所について行っている。
- ◎ 最終的に候補地となった地域に対して、なぜもっと早く説明しないのか。
- 3月に答申を受け、5月からまちづくり会議をはじめとする各地域に対して順次説明を行ってきたが、市民説明会はこの時期になってしまった。
- ◎ 候補地を選定していく審議の経過や各候補地についての意見等の資料を公開できないのか。
- 議事録などの公開は可能である。検討過程などの資料を用意させていただきたい。
- ◎ 整備した際の跡地活用等のメリットは提示があったが、地域へのデメリットについても提示いただきたい。
- デメリットについても資料を用意させていただく。
- ◎ 以前の地域説明の際は、下水道放流についても検討しているという説明だった。しかし、今回の説明では、尻久保川に直接放流も考えられるということだが、川への放流を前提に進めないでほしい。最終候補地の決定後、一定期間あるので、下水道を整備するよう検討してほしい。
また、放流する水は安全ということだが、魚などが住める基準にしているのか。
- 河川への放流については前提ということではなく、引続き下水道放流について検討

を行っていく。処理水の法令基準については、仮に河川へ放流することになった場合はそれだけ基準も厳格にしていくことになる。

- ◎ 尻久保川へ放流する可能性があるとのことだが、下水道整備をすることを前提としてもらいたい。また、No.5については、防災に係る法規制が指定されていると説明があったがどのような規制か。最後に、候補地No.8、9については地中障害物がある可能性があるとのことだが、調査をしているのか。
- 下水道整備については引き続き検討をしていきたい。No.5については、一部が土石流危険溪流、土石流危険溪流主流路、山腹崩壊危険地区に指定されている。仮に整備する場合は、そういった防災対策を含めて整備することになる。
No.8、9については、現段階で地中障害物の調査はしておらず、あくまで可能性である。
- ◎ 市街化区域については整備ができないとのことだが、なぜ整備できないのか。
- 市街化区域についても対象に入れて検討した結果、候補地がなかったということである。
- ◎ 既存の公園を一時的に最終処分場として使用し、将来的に再度、跡地利用として公園に利用できないのか。また、ごみを出す人が多い場所に整備すべきではないかと考えている。
- ご意見として頂戴する。
- ◎ 小さい頃から育った根小屋地域が候補地となったことが非常に残念である。
浸出水処理施設は安全という説明もあったが、安全・安心に絶対はなく、原発なども大きな事故になっており、安全は信用できない。
また、合併後、市の様々な事業が立ち切れになったり、火葬場の建設予定地となったり、マイナスな部分を押し付けられているような心境であり、市は信用できない。
候補地No.5、6については、候補地から外すようお願いしたい。
- ご意見として頂戴する。安全対策については、1つではなく、仮に整備する場合にはいくつもの安全対策を重ね合わせ、出来るだけ安全性の高い対策を講じていきたいと考えている。
- ◎ 現最終処分場については、これまで約30年間使用してきたようだが、今回の予定は15年間となっている。仮に、今回No.5を整備する場合、更に15年後にNo.6になる可能性はあるのか。
また、火葬場の話が一時から全く聞かなくなったが、現在の状況はどうなのか。
- 仮にNo.5になった場合、更に15年後は新たな候補地を検討していくことになると考えている。最終処分場は、貴重な施設なため、市民の皆さまの協力をいただきながら少しでも長く、延命化を図れるよう工夫していきたい。
新たな市営斎場については、青山が最終候補地になっており、今年度については、土砂災害関連の検討を進めていると担当部署より聞いている。
- ◎ 説明会は今回で終わってしまうような気がしているが、今後も予定しているのか。
- ご質問もいただいております。対話が重要と考えているので、必ず実施する。
- ◎ 評価項目にある「将来計画の可能性」とは何か。津久井の2候補地を拡張性があるとして評価しているのではないか。
- 将来計画の可能性とあるのは、埋立が終わった後の跡地利用という視点である。
- ◎ 評価配点のウェイトが全て同じに見える。将来計画などについては、未来の話であり、他の項目と評価が同じなのは疑問がある。
- 2次評価はそれぞれの項目ごとに相対評価を行っているので、ご意見のとおり、評価の重さは同じである。
- ◎ 津久井地区の人口が減少しているのは地域が不便であるからと考える。これからの

津久井地域の発展のために、中野山は必要な財産であると考えているが、そのような土地に、人口が少ないからという理由だけで処分場を整備するというのはどうなのか。

- 今回の候補地選定については、まずは技術的に最終処分場が整備できるのかという視点で検討している。しかし、地域の方の思いもあり、お聞きしていきたいと考えている。
- ◎ 最終処分場を強制的に作らないと約束できるか。
- そういった地域の声があることは受け止める。先程からお話ししているが、地域との対話が重要と考えている。
- ◎ 候補地No. 5、6の課題の一つとして、搬入経路が必要とあるが、候補地に入る前の道路は通学路にもなっている。工事時の車両の出入りなど安全対策はしてもらえるのか。また、対策をしてもらえる場合は最終処分場の整備後の安全対策なのか、それとも事前に対策を実施してもらえるのか。
- 整備前から危険等が確認される場合は、安全対策を検討してまいりたい。
- ◎ 今後、こういった形で住民意見を反映していくつもりなのか。今回の説明会だけでなく、広く周知することに努めていただきたい。
今後、地域との対話を重要視しているのであれば、情報公開を含めしっかりとしていきたいということ要望しておく。

以 上